

学 校 長 あ い さ つ

みはま支援学校のホームページにお越しいただきありがとうございます。

校長の植野 博之です。

本校は、昭和54年に開校し、和歌山県日高郡美浜町にある県立自然公園「煙樹ヶ浜」の松林の中にある自然豊かな環境に恵まれた県内唯一の病弱教育を行う病弱支援学校です。

今年度は、小学部から高等部まで児童生徒が在籍しており、その内、和歌山病院に入院している児童生徒が所属する一学部の児童生徒は、病棟との連携を図りながら健康と体力の保持を図り、学習を通して人や物に関わる力、自己表現力や自己決定力を育てます。

自宅から通学している二学部の児童生徒は小学校・中学校・高等学校に準じる教育を行うとともに、病気への理解を深め、自己理解を高めるとともに社会で自立していく力を育てます。

本校の教育目標は、「児童生徒の心身の状態を医療機関と緊密な連携のもと、よりの確に把握し、一人一人の個性、能力特性に沿って、発達の可能性を最大限に求める教育を行い、病気や障害を改善または克服し、自信と希望を持って生き抜く人間性の育成に努める」です。

共生社会の実現へ向けて、学校は保護者、地域、医療・福祉等関係機関等と連携し、様々な教育活動を通して個々の持てる力や個性を伸ばし、社会で主体的に生き、切り拓こうとする意欲と態度を育てたいと考えます。また、県内唯一の病弱支援学校として県、地域でのセンター的機能を発揮し、病院、福祉等関係機関や地域と共に学び、高め合える学校づくりを図りたいと考えます。

令和2年度は、新型コロナウイルスが世界的に蔓延し、臨時休業が行われるなど、見通しの持ちにくい、今までの学校教育が経験したことのない状況が継続しています。

こんな時代だからこそ、児童生徒が心豊かに和やかに、そしてたくましく前向きに成長して欲しいと願います。

今後とも、保護者の皆様や関係者、地域の皆様のご支援、ご理解、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。



令和2年4月吉日
和歌山県立みはま支援学校
校長 植野 博之